



協働型地域おこし協力隊
ただの ひろゆき
只野 宏幸さん

着任：令和4年10月(1年目)
出身：東京都板橋区

—これまでの経歴について教えてください。

早稲田大学を卒業後、三菱地所株式会社へ入社し、タワーマンションの開発プロジェクトマネジメントや複合ビルの開発、まちづくりコンセプトの策定などを担当しました。令和元年からは北海道エアポート株式会社へ出向し、北海道の空港民営化に向けた新会社の立ち上げや経営企画、経営改革などを担当しました。

—厚真町では何をしていますか？

町内のGOODGOOD株式会社で、経営企画を担当しています。現在準備を進めている事業の資金計画や事業計画を策定しつつ、資金調達や投資営業を行っています。今までのキャリアを生かして、大企業との事業連携の実現を目指しています。

—会社の事業について教えてください

代表的な事業として、高丘地区にある200haのゴルフ場跡地を放牧和牛の生産地として整備しています。ここで生産する畜産物を見て、食べて、学んで、楽しんでいただきながら商談も出来る複合施設のオープンに向け、準備を進めています。畜産だけでなく、農産物など北海道の広大な土地で生まれる資源を活用する循環型ビジネスの構築も目指しています。

—厚真町に来ようと思ったきっかけは？

これまで不動産ビジネスに携わってきて、地方の土地の価値を上げることへの課題を感じていました。農業や畜産を通じて、土地の付加価値の向上にも取り組んでいる同社の事業に魅力を感じました。地域の資源を生かした新しい不動産開発に挑戦したいと思い、移住を決めました。

—3年後の目標は？

高丘地区での事業を軌道に乗せることです。厚真町にビジネスを定着させて継続していくための基盤づくりの期間にしたいです。各種企業が、ビジネスを通じて町との関係人口になることで、地方創生の新しいモデルが出来たらいいなと思っています。夏には、サーフィンに挑戦したいです。

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈12月11日現在〉

農業支援員▷9人 教育魅力化支援員▷3人
起業型▷6人 協働型▷15人



協働型地域おこし協力隊
しまざき たかひろ
島崎 貴裕さん

着任：令和4年7月(1年目)
出身：東京都足立区

—これまでの経歴について教えてください。

中学生のころに観た「キャッチ・ア・ウェーブ」という映画がきっかけでサーフィンを始めました。プロサーファーを目指し、サーフィンのある千葉県の大塚高等学校に進学しました。卒業後は、サーフィンの大会に出場しながら父が営む印刷業を手伝いました。このほか、飲食店や不動産業、営業職なども経験しました。

—厚真町でどんな活動をしていますか？

町内でサーフボードやウェットスーツなど関連グッズの販売、サーフィンの体験レッスンを行ってるサーフショップ「タクーサーフ」で働いています。主に中級者向けにサーフィンのコーチングをしながら、新規事業を立ち上げる準備をしています。具体的には、山のトレッキングガイドやスキーガイド、北海道内のサーフポイント

を案内するガイド業を始めようと考えています。ガイド業に必要な資格の取得に向けた勉強や必要な道具を調達しています。

—厚真町に来ようと思ったきっかけは？

サーフィン大会への出場を辞めたあとに写真の撮影に目覚め、日本の四季を撮るために全国を回りました。次第に雄大な自然の中でサーフィンがしたい、スノーボードもしたい、四季の風景を写真に残したいとの思いが募りました。北海道には、そのやりたいことが全部そろっている所以で移住を決めました。

—厚真町の印象を教えてください。

野菜がとても美味しいです。これまであまり野菜を食べませんでしたが、厚真に来てから野菜が好きになりました。町には多種多様な人がいて、面白い町だと思います。

—3年後の目標は？

現在の中級者サーファー向けのサーフィンコーチング事業をしっかりと軌道に乗せたいです。厚真を拠点にして、海と山のアドベンチャーツーリズムを実現するために、登山ガイドステージ2の合格を目指しています。また、サーフィン以外にも使えるウェットスーツの製造事業や写真展にも挑戦したいです。